

3月

< 行事予定 >



- 1日(月) 街頭指導 長寿会防犯パトロール
かがやき集会
- 2日(火) 磯部プロジェクト放球(5限目)
- 3日(水) クラブ 学校保健委員会 17:30~
- 4日(木) 朝の読み聞かせ(今年度最終)
- 5日(金) 学習参観・中学校入学説明会・学級懇談会
課外活動修了式 広報委員会
- 6日(土) 市P連理事会
- 8日(月) 全校朝会
- 10日(水) いじめ・携帯アンケート
委員会(今年度最終)
- 12日(金) おはよう挨拶運動
安全点検&防犯ブザー点検
- 15日(月) 街頭指導
- 16日(火) 卒業式予行練習
- 17日(水) 卒業式準備(6限目) 6年生通知票渡し
- 18日(木) 第74回卒業証書授与式
- 20日(土) 春分の日
- 24日(水) 大掃除 修了式
在校生通知票渡し(本人へ)
- 25日(木) 春休み(~4月4日)
- 26日(金) 離任式(午前9:00~予定)
- <4月>
- 4月2日(金) 入学式準備(新5・6年生)
- 5日(月) 令和3年度入学式(12名の予定)

3月の清潔検査は、
2・9・16日の火曜日です。



「第74回 卒業証書授与式」のお知らせ

3月18日(木) 10時 ~ 於:飯田小体育館

今年度は、男子6名、女子5名、計11名が飯田小学校を巣立っていきます。保護者の皆様にご列席頂き、門出を祝って頂きますようご案内申し上げます。受付は9時30分からです。



花壇のチューリップ

飯田小ミニ情報誌

梅の里



三〇年後は？

校長

吉田 亮



三〇年後、小学生の皆さんは四〇歳前後になっていきます。少し想像してみてください。成人し、やがてお父さんやお母さんになっていくかもしれません。時代の流れによって子育ては変わっていくと思われませんが、いつの時代でも変わらない我が子に対する愛情は、是非、親から子へと受け継がれなければなりません。ただし、これは理屈で理解するものではなく、実際に豊かな愛情を受けてこそ、次世代にバトンタッチできるものと考えます。

今でも時折思い出すあの瞬間・・・わたしは小学一年生になったばかりの頃だったでしょう。当時の飯田小学校は、現在の飯田保育所の場所にあります。下校途中、わたしは急に便意をもよおし、漏らしそうになるのをなんとか我慢して家まで帰ってきたことがありました。しかし、家に着いたとたん、ほっとしたからか、トイレに駆け込む前に漏らしてしまいました。子どもながらに大失敗だったので、その時の母と祖母の表情を今でも鮮明に覚えています。困った顔や怒った顔など一切せずに、「しようがない」

といった様子で後始末をしてくれました。体を拭いてくれたときの顔は、五〇年以上経た今も歳をとっていません。子ども心に何かを感じたに違いありません。

子どもがピンチのときや過ちを犯したときなど、叱責することの外に、次につながるような温かい接し方を持つていくことは大切です。心に響くならば、それは将来受け継がれ、三〇年後には再現されるかもしれません。その頃、わたしは別の世界へ往っている可能性が高いので確認できないのは残念です。

先日、わたしは小学六年生時代の恩師とお会いしてきました。御年九〇歳、埜崎先生。わたしに大きな影響を与えてくださった先生です。お得意な分野は理数系で、算数や理科の指導がご熱心でした。どこから手に入れたのか、飯田小に生きた「猿(名はタロウ)」を飼っていたおいでたことも・・・。

子どもたちは、社会人として巣立つまでの学校生活で、どれほどの出会いがあるでしょう。か。義務教育九年間、さらに上位の学校での数年間の間に、人

生を豊かにできるようなよい影響を与えてくれる教師、あるいは友人、地域社会の方々や巡り合えることを願うばかりです。わたしは、胸を張ってお名前を挙げられる恩師がいることを幸せに思います。一方、我々教員の立場からすれば、それぞれの子どもたちにとって、どこかの時代で、誰かがそんな存在であり得たらいいと思います。「思い出に残る先生なんていない」などという思いはさせたくないのです。

もちろん、まずはご家庭の教育力。そして、地域、学校の教育力。これを行うのは人であり、大人の関わりを、足したり引いたりするのではなく、如何にかけ算のようにもっていくかは、それぞれの大人の腕次第と言えらると思います。もし、うまく掛け合わせることができれば、効果は絶大になるでしょう。



お父さん・お母さん・地域の皆さん、いつも支えてくださってありがとう！

卒業を祝う会・感謝の会



2年生「スイミー」
「宇宙戦艦ヤマト」に合わせて



5年生「スーパースター」



3年生「3年生の特別な一日」
6年生へメッセージ



1年生「大きなかぶ」



この一年間、飯田小を支え、下級生のよき見本となり、頑張ってくれた六年生へ感謝の気持ちを届ける「卒業を祝う会」と、これまで飯田小学校を応援し、いろいろな場面で支えて下さった地域の皆様や保護者の皆様に「感謝する会」が、二十日(土)に行われました。

当日は、天候も良く暖かい日となりました。今年度は、コロナ禍の為、地域の方をご招待することは出来ず、また保護者の方の数も制限させていただきました。ご協力に感謝いたします。

今年も飯田小の子ども達は、堂々と自分たちの思いを発表することができました。劇の内容もダンスの振り付けなども子ども達主体で考えたものが多く、どの学年も学んだことを生かしながら、のびのびと表現していました。「大好きな六年生のために、この会を良い会にしたい」という思いが当日の発表から伝わってきました。

主役の六年生は、「過去と未来の自分」と題して、飯田小で学んだこと・体験したことやこれから自分が進もうとしている道を描いた劇を披露してくれました。当日を迎えるまでの練習の中で、リーダーとして、たくさんの困難はあったけれど、自分や仲間を信じて共に力を合わせてきたことなど振り返ることもあったと思います。劇の終わりには、保護者の方や地域の方々、友だちに支えられて今の自分たちがあることを、伝えてくれました。

また、PTAの皆様による合唱「365日の紙飛行機」は、しっかりと心に響くものでした。歌の前のスライドからは、お子さんに対する深い愛情が込められていました。

お子さんと一緒に、PTAを卒業される方もいらっしゃいます。これまで、本校の為に心を寄せて下さりありがとうございます。

寒さに負けない体力づくりとして取り組んできた縄跳び。恒例の「なわとび集会」が行われました。

今年度は、個人の縄跳び、チャレンジタイム等行いました。高学年が軽やかに難易度が高い技を成功させると拍手が鳴り響きました。「あんな風に、できるようにになりたい。」と思った下級生もたくさんいたことでした。

縄跳び集会

二月二日(火)

地域の方からもプレゼント

卒業を祝って、長寿会の皆さんから、交通安全を願った手作りのストラップと、珠洲交通安全協会から反射材用品が贈られました。また、六年生の助則さんのおばあちゃんからもマスクやマスクが贈られました。とても素敵な、そして嬉しいサプライズでした。ありがとうございました。



感謝の気持ちを伝える6年生



PTA合唱「365日の紙飛行機」



4年生「わたしたちが見た6年生」
「ダイナマイト」でダンス



3～5年生の鼓笛演奏で退場



6年生「過去と未来の自分」



6年生へプレゼント



四月から入学する飯田保育所のお友達を迎えて、一緒に勉強。学校のことをお話ししたり、お世話したり、もうすっかりお兄さん、お姉さんですね。頼もしいです。

お招き会(一年生)二月二四日(水)



四月からは中学生。市内の他の小学校の六年生ともクラスメイトになります。緑丘中学校で国語科の授業を受けたり、中学生と交流してきたりしました。出発する前は、緊張している様子でしたが、学校へ帰ってきたら、「楽しかったです」と笑顔がみられました。中学校の様子も少し分かり、ほっとしたようです。

中学校体験入学(六年生)二月一九日(金)

今年度、青少年読書感想文全国コンクールで毎日新聞社賞を受賞した一年生米田壮助さんと全国学校図書館協議会長賞を受賞した六年生道下ひな乃さんが受賞しました。おめでとうございます。

珠洲市少年文化賞受賞

5級	置いてあるはしをとって、正しくもつことができる。
4級	はしを正しく持って動かすことができる。(カチカチを10回連続で)
3級	おいてあるはしを正しい持ち方で持ち、「ひよこ豆」を1個つまむことができる。
2級	正しい持ち方で10秒以内に「金時豆」3個を移動させることができる。
1級	正しい持ち方で10秒以内に「小豆」5個を移動させることができる。
名人	30秒間に正しいはしのもち方で「小豆」15個を移動させることができる。

おはしを正しく使えるようになるためには、一昨年度からおはし検定に取り組んでいきます。スタートは昨年度の記録からです。今年の名人は三人からの挑戦でした。

検定の内容は、上の表の通りです。検定の様子をみてみると大部分の子は、特に高学年に上がるほど正しい持ち方で小豆を移動させることができているようです。低学年の子も上の級を目指して頑張っていました。中には焦って思うようにいかないことも。来年はどの級からスタートでしょう。

おはし検定 上手に持てるかな